

(3)新出語…広く知られていなかった既存の語を、意味を変えずに使用することをいう。

のような、三つが考えられる。

4 流行語とは

ある時点で社会の広い範囲で使用され、知られるようになった語を流行語という。そのため流行語は新語と重なる場合もあるが、必ずしも新語であるとは限らず、既存の語がある時点で注目を浴びて流行語となることも少なくない。その時代の世相や風俗を表すことから世相語、風俗語などと呼ばれることもある。

流行語は一般に寿命が短く、出入りも激しいが、一部には長く使われて一

般語化するものもないわけではない(表8-1,図8-2)。

5 流行語の発生理由

人々に知られた語のすべてが流行語化するわけではない。流行語の発生理由も新語同様に分けてみる。

- (1)社会的理由…古くは、劇場、寄席、映画などを通じて大衆が親しく接した語が流行語となることがあった。近年は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、などのマスメディアによって一般社会に広がる例が多い。また、戦時中の政府が行なったスローガンのような例もある。
- (2)心理的理由…影響力の大きい芸能人、著名人の発言の一部を大衆がま

ねたり、共感を覚えて使用したりすることで流行語となることもある。そのため、流行語は必ずしも語とは限らず、句や文の形で流通することも珍しくない。

- (3)言語的理由…語形や意味などのもつ新しさ、奇抜さを大衆が支持して会話に使い、その語を使用すること自体を楽しむことで広がる場合がある。これは(1)(2)とも密接な関係がある。

6 廃語・死語

新語の発生により使用されなくなったり、事物自体の消滅によって使用されなくなったりする語がある。また、その事物に対する考え方が変わり、使

わなくなった語もある。これらを廃語または死語という。俗に、流行が去って忘れられた語を死語というが、廃語や死語の認定は容易にできない。言語学では、日常的話者が存在しなくなった言語を死語という。サンスクリット語やラテン語など、日常的話者はいないが、文献による学習者が存在する言語や、ヒッタイト語やトカラ語など、発掘によって過去の存在が判明した言語もある。

図8-2 大学生の流行語認知度

右のグラフは、1984～2009年「日本新語・流行語大賞」(自由国民社/ユーキャン主催)の選考にノミネートされた流行語を、大学生がどの程度知っているかについてアンケートした結果である。アンケートは東京都内・大阪府内の大学生807名を対象とし、2010年9～10月に木村義之が行った。

